

MRI 検査について

MRI 検査とは…

MRI 装置とは？

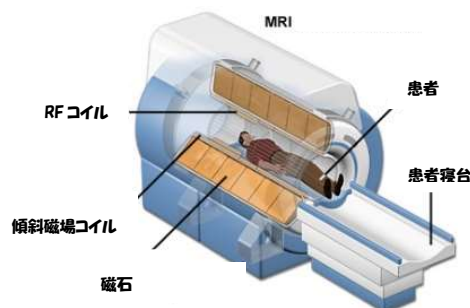
MRとは磁気共鳴断層画像診断装置（Magnetic Resonance）の略です。
原理：強い磁石と電波によって人体の断層像を撮影します。

MRI 画像ができるには？

強い磁石の中に入り、電波を与えることにより体の中の水素原子が共鳴します。
電波を止めると水素原子から微弱な電波がでます。
MRI 検査はこの微弱な電波を使って画像を作る検査です。

MRI の特徴

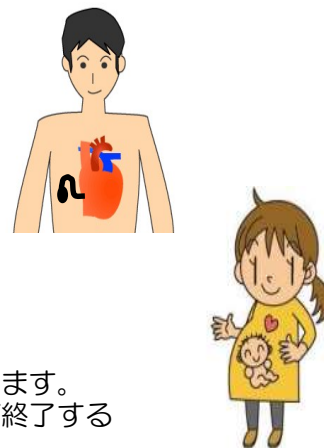
- X 線を使いません。（X 線被曝がありません）
- 体中のあらゆる方向の画像が得られます。
- 痛みは全くありません。
- 強い磁石を使って検査をします。
- 検査時間が長くかかります。
- 大きな音がします。



MRI 検査に関する疑問

MRI 検査は安全ですか？

回答) MRI 検査は磁石と電波によって画像を作ります。
X 線写真や CT の様に放射線は用いませので安全といえます。
使用する磁気や電波は無害で体に感じるものではありませんが、
強い磁石を用いますのでペースメーカーや金属が体内にある方は
検査を受けることができません。また、場合によっては、造影剤と
いう薬を静脈内に注射して検査をする場合があります。
妊娠している方はより一層の安全性をみて原則として MRI 検査を行
わないようにしています。



検査にはどのくらい時間がかかるのですか？

回答) 検査の内容により異なります。普通 1 回の撮影が数分から十数分かかります。
通常は撮影方法を変えてこの撮影を 2～5 回繰り返しますのですべてが終了する
には 30 分から 60 分くらいかかります。

MRI 検査を受けると CT や他の検査は必要なくなりますか？

回答) それぞれの検査で得られる情報が異なるため他の検査が不必要になることはありません。
また、ペースメーカーや金属が体内にある方は原則として MRI 検査ができませんので他の検査で補う必
要があります。

造影剤について

検査の内容（より詳しく調べるため）によっては造影剤という薬を静脈内に注射して
検査を行う場合があります。



注意事項（検査前）

- 次の方は事前に検査担当者に申し出てください。
- ▽喘息にかかったことがある方
 - ▽アレルギーがある方
 - ▽以前に造影剤を使用した時に異常があった方

造影剤を注射した後（検査中）

- ごくまれに次のような症状が現れることがあります
- ▽吐き気
 - ▽熱感
 - ▽蕁麻疹等
- これらの症状が現れたときは連絡用ブザーを鳴
らしてください。

MRI 検査を受ける方へ

MRI の検査が受けることができない方

○検査を受けることができません

- 心臓ペースメーカーを使用している方
- 人工内耳を埋め込まれている方
- 可動型義眼を装着している方



○検査を受けることができない場合があります

- 脳動脈瘤の手術を受け金属クリップを入れている方
- 妊娠または妊娠している可能性がある方
- 金属製の心臓人工弁を入れている方
- 閉所恐怖症の方
- その他の金属を体内に入れている方
- (眼に金属粉等が入っている可能性のある方) これらいずれかに該当する方はスタッフに申し出てください

検査室に持ち込めないもの

○身につけている金属類は外して下さい。

○金属のついていない下着一枚になって、検査着に着替えていただきます。



クレジットカードやキャッシュカード、定期券などの磁気カード類、
時計は磁気により使用できなくなりますので検査室には持ち込まないようにして下さい。

検査の流れ

- ① 検査室に入る前に注意事項について再度確認をします。
- ② 検査室のベッドに仰向けに寝て下さい。
(体の位置がずれないように固定をします)
検査中に気分が悪くなったりした場合の連絡用ブザーをお渡しします。
また検査中は担当者とマイクを通じていつでも会話ができます。
(リラックスしてお受けください)
- ③ 検査が始まると連続的に「トントン・ガーッガーッ」という音がしますが磁石から
でる音ですので心配はいりません。
動かないように寝て下さい。
(胸部の検査や腹部の検査の場合は何回か息をとめて検査を行うことがあります)



※検査後安静などの必要はありません。食事や入浴など日常生活は普段通りで結構です。